



代表取締役社長
社長執行役員
柳 弘之

代表取締役
専務執行役員
木村 隆昭

ステークホルダーの皆さまへ

モノ創りで輝き、世界に存在感を示す“感動創造企業”として、 構造改革と経営基盤変革を推進し、持続的な成長を実現します。

2011年12月期の連結業績は、売上高1兆2,762億円、営業利益534億円、当期純利益270億円と減収ながら増益の決算を果たし、結果として欧州経済危機・超円高・東日本大震災・タイ洪水などの非常に困難な経営環境下にありながら、順調な業績の回復を示すことができました。これは、新興国二輪車・マリナーなどの販売増加に加えて、経営再建を目指した課題を重点化・共有化し、グループ総力で構造改革と経営基盤変革に取り組み、「業績V字回復・収益安定化」への基礎づくりを加速させたことによる成果と自負しています。

ステークホルダーの皆さまの日頃のご支援に深くお礼を申し上げますとともに、当期は構造改革の推進によって業績および財務体質の改善が図れたものと判断し、1株当たり15.5円の配当を再開させていただいたことをご報告申し上げます。

中期経営計画の最終年度にあたる2012年12月期におきましては、引き続き超円高が予測される事業環境での経営対応を図るとともに、グローバルな事業規模の拡大、バランスの良い財務体質の構築、機能革新とグローバル化による企業力の向上といった視点から次期中期経営計画の策定を進め、さらなる構造改革と将来の成長に向けた経営資源の投資を加速することで、「業績V字回復・収益安定化」から「持続的な成長による企業価値向上」へと企業経営のフェーズを進める決意を固めています。

ヤマハ発動機グループは、グループ一丸となって「前向き・外向き・上向き」に仕事に取り組むことで、ステークホルダーの皆さまのご期待に応えるべく最大限の努力をしております。皆さまにおかれましては、なお一層のご指導・ご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

2012年4月

柳 弘之 木村 隆昭

代表取締役社長
社長執行役員
柳 弘之

代表取締役
専務執行役員
木村 隆昭